

2024年度（令和6年度）事業計画書

公益財団法人大阪ユースホステル協会では、2024年度も「青少年の健全育成」に積極的に取り組んでまいります。現在、提案しているプログラムや事業に加え新たに利用者ニーズをとらえた提案を発信、また社会貢献を意識しながら防災・減災の観点をもったプログラムを提案してまいります。

各々違う立地・特色をもった4施設の各々の強みを活かしながら、かつ協会としての総合力を発揮できるよう本部が中心となった運営を進めます。利用者に必要とされる施設として一層「安心安全」で「快適」な施設運営を目指し努力してまいります。

基本方針

1. 青少年育成の取り組み

4施設において各種主催事業や青少年事業を通じて、ユースホステル運動の推進と青少年健全育成に取り組んでまいります。また、日本ユースホステル協会・近畿ブロックユースホステル協会と連携して青少年対象事業を共同企画・広報強化に取り組みます。

2. 利用者ニーズに沿った事業・施設運営

現在利用の中心となっている学校団体や青少年団体またスポーツ団体の為の活動・宿泊施設として、また社会人団体・企業団体の利用施設としてより一層満足度向上を目指します。益々増加が予想される海外からの利用者にも快適なサービスを提供し「ユースホステル」「関西・大阪」の魅力を存分に感じていただけるよう改善・工夫を重ねます。

また全ての利用者の安心・安全を最優先に計画的に施設の整備・改修・修繕をすすめていきます。

3. 新たな取り組みの開始

目まぐるしく変化する社会情勢、また利用者ニーズも刻々と変化しております。今までの取り組みだけでは当然取り残されると考えます。社会の変化を敏感にとらえまた利用者ニーズをしっかりと反映した新たな企画を利用者に提案していきます。

各事業所の特性を活かし特色あるプログラムを発信し何度も訪れたいくなる施設を目指します。

また昨年より発足した若手職員による「営業企画部」の活動もより強化し、未来を担う若手職員達の既成概念にとらわれない提案をしっかりと採用・実行していきます。

事業計画

1. ユースホステル運動

ユースホステルおよび青少年施設の管理運営を行い、国内外の青少年および青少年を取り巻く幅広い年齢層の方々の施設利用を通じて青少年の健全育成を図ります。ますます増加が見込まれる訪日外国人の利用促進をはかり、国際交流の担い手として力を発揮します。

2. ユースホステル協会の運営と事業展開

2025年の「大阪・関西万博」を控え、万博の受け入れ態勢を整え飛躍の1年となるよう、またその後も継続的に発展するための各種方策を企画・実践し、管理運営している4つの事業部（ユースホステルおよび青少年施設）の堅牢な地盤作りに努めます。

世間の例に漏れず人手不足感は否めませんが、2024年3月から4月にかけて4名の採用を予定しており、専任担当として先輩職員がつき、育成に力を入れます。

(1) 組織運営と魅力の向上

- ① 職員の新規採用
- ② 業務の効率化（IT化とペーパーレス化の推進）
- ③ 職員の処遇改善とスキルアップのための研修等諸策
- ④ 施設を横断した「広報・営業部」の本格始動
- ⑤ ボランティアリーダーの募集と育成
- ⑥ コロナ禍による中止で復活しがたい事業の廃止と、新規事業の開発

(2) 地域・行政・機関との連携

- ① 日本ユースホステル協会との連携と相互協力
- ② 近畿ブロックユースホステル協議会の一員としての活動
- ③ 大阪府・大阪市など指定管理委託者との調整
- ④ 関係各機関との連携と相互協力
 - ・ 青少年活動団体・野外活動団体・子ども会・青少年施設
 - ・ 運動に理解のある企業・団体・組織等
- ⑤ イベントへの参加・出展
 - ・ モンベルフェアや大阪市こどもカーニバルなど
- ⑥ 大阪府観光局との連携（資料提供・広報・研修会・商談会等）
- ⑦ 大学ユースホステルクラブの活動支援と相互協力

(3) 利用促進・広報活動

- ① 4施設を統合したパンフレットの作成と、営業チーム「営業企画部」を中心にした大阪ユースホステル協会全体としての営業・広報
- ② SNS等に活動を発信している各種スポーツ・文化団体に、合宿や遠征の利用を促す直接的なアプローチ
- ③ 主催事業の参加や団体での利用をきっかけとした、参加者各位に対するユースホステルへの誘客

(4) 事業の企画と実施

① こども事業

事務局が参加者を募集して「出かける」型のこども事業はいったん休止し、各施設をベースにその立地や施設を活かした子ども（親子を含む）対象事業および指導者育成事業にリソースを集中します。

② ウォーキング事業

休止が長引いたのを機に、これまでの「長距離徒歩旅行」への啓発から、「歩く旅の楽しさの体験」に軸足を移し、ウォーキング事業の再開に向けての模索をします。

③ 社会貢献事業

主に各施設周辺の住民の方々に施設開放を行う「オープンデー」の実施の他、取組み間もない「こども食堂」の一層の定着化を行います。また、日本ユースホステル協会が推進する「旅する機会に恵まれない子ども達に宿泊の機会を」というチャリティー企画の再開へ向けて準備します。

④ 会員サービス事業

- ・旅行相談会
- ・海外からの旅行者に向けたインフォメーション活動や日本文化の体験活動

3, 新大阪事業部(大阪市立青少年センター・新大阪ユースホステル)

貸室と宿泊施設を備えた当施設の魅力を発信し、利用につながるように努めます。貸室と宿泊の併用利用の利用促進を図るため学校クラブ合宿等の団体誘致に継続して取り組みます。また設備備品、付属設備を更新し充実させることで、さらなる利用促進を図るとともに、ホールや録音設備のあるスタジオなど特徴的な施設についても、利用者ニーズの把握と新しい事業企画の立案などで、リピーターの確保・新規顧客開発の両面から利用増に取組みます。

宿泊（新大阪ユースホステル）部門では、コロナ禍前の利用団体や、教育旅行を取扱う旅行代理店・インバウンド専門のエージェント等に営業活動を行うとともに、反響の大きかった小中学生プランを強力に推進し、さらなる利用に向けて他の宿泊プランも開拓します。また、空調の更新についても SNS やホームページに掲載し、快適さをアピールします。

ココカフェについては業態の見直しを行い、通常営業の再開とステージを活かしたイベントの開催とイベントスペースとしてのレンタル、飲食提供ができる会議室・セミナー会場・イベント会場として運営します。人数、食数の多い場合や複数のお客様のご予約の希望がある場合に、カフェとユースホステルの食堂の同時稼働で対応できる態勢に移行します。

(1) 施設の管理運営と魅力の向上

- ① アンケートや聞き取り調査による利用者ニーズの把握と、それに伴う設備・備品の更新とサービスの向上
- ② 稼働の低い貸室の利用提案による活性化
- ③ 新たなニーズを発掘するための魅力ある宿泊パックの造成
- ④ 宿泊者向けのイベントの定期開催
- ⑤ ココカフェの稼働増のための食事やパーティーとセットした利用プランの提供

(2) 地域・行政・機関との連携

- ① 施設の市民開放イベント（KOKO 秋フェスティバル）の実施
- ② 地域の夏祭りへの出展と運営協力
- ③ 小学校の職業体験・特別支援学校の体験学習・大学生のインターンシップなどの受入
- ④ 大阪市社会福祉協議会・フードバンクとの連携（子ども食堂「キッズカフェ」）

(3) 利用促進・広報活動

- ① 併用利用の強化・促進（宿泊と会議、合宿、研修など）
- ② 大阪市広報誌「いちょう並木」への掲載
- ③ 周辺小学校へのこども対象事業の情報提供や各種施設へのチラシの配架
- ④ ホームページや SNS による広報
- ⑤ 宿泊パッケージプラン
 - ・小中学生応援宿泊パック・家族&グループプラン・夜行バスプラン・観劇観戦プラン・就活パック等
- ⑥ 日本ユースホステル協会を通じた広報

(4) 事業の企画と実施

- ① こども・青少年対象事業
 - ・ここぷらキッズイベント 年間を通じ6回
 - ・KIDS DANCE（初級・中級） 通年
 - ・KOKO☆チアリーディング 通年
 - ・七夕（短冊に願いを記し笹に飾る） 7月
- ② 家族対象事業
 - ・キッズカフェ（子ども食堂） 月2回
- ③ 一般対象事業
 - ・KOKOでうたおう！童謡ひろば 毎月
 - ・カルチャー教室（ピアノ教室ほか） 通年
 - ・ふんふん寄席 in KOKO 隔月
 - ・フォークソングナイト 隔月
 - ・KOKO de CONCERT 年間を通じ3回
 - ・KOKO秋フェスティバル 10月
 - ・サンクスギビングフェスタ
（施設練習利用者対象の発表会） 3月
 - ・年末年始イベント（宿泊者対象） 12・1月

(5) 利用獲得目標

	2024年目標	2023年見込	2018実績
貸室(文化ゾーン)	160,000人	155,800人	243,850人
稼働率	48%	42%	
宿泊(新大阪ユースホステル)	20,000人	16,000人	20,412人
稼働率	45%	36%	

4, 羽衣事業部(大阪国際ユースホステル・羽衣青少年センター)

施設の運営面では、団体宿泊利用の促進、炊さん場の利用増、自主事業の収益増に注力します。また、青少年施設の役割として、近隣施設やボランティアとの協働、普段できない体験活動の提供、世代間交流などのプログラムを引き続き提供します。

施設管理においては、老朽化した設備の更新とあわせて、照明器具のLED化、炊さん場予約システムの導入を進めます。

また、働きやすい職場作りへのアプローチとして、労働時間の見直しと生産性の向上を両輪とした、ルーティーンワークの見直しと効率化、および外部研修への参加も含めたスタッフ各位のスキル向上のための取組を行います。

(1) 施設の管理運営と魅力の向上

- ① 炊さん場予約システム導入
- ② 高圧受電設備のオーバーホール（5か年計画の2年目）
- ③ ボイラーの部品交換、膨張タンクの修繕
- ④ 施設照明のLED化推進
- ⑤ 宿泊棟洗面台の排水管の交換
- ⑥ 和室大の畳替え
- ⑦ アンケートや聞き取り調査を通じた利用者満足度向上への取組み
- ⑧ 節電・節水等をオリエンテーションやポスター掲示等で啓発
- ⑨ 新規ボランティアの募集と育成

(2) 地域・行政・機関との連携

- ① 浜寺公園をはじめとする近隣施設との共同イベントの実施やプランの販売
- ② 近隣小学校の街探索（見学）の受け入れ
- ③ 近隣の大学と連携した事業の実施

(3) 利用促進・広報活動

- ① 外国人技能実習生の合同研修場所としての営業活動の実施
- ② 学校やインバウンド団体へ定期的な誘致営業の継続
- ③ 過去利用団体の再利用に向けた営業活動の継続
- ④ スポーツ団体誘致活動の実施
- ⑤ SNSを活用した広報活動の継続
- ⑥ 公園利用者をターゲットにしたランチ提供
- ⑦ 高石市教育委員会の協力のもと、青少年育成会等での広報活動
- ⑧ 日本ユースホステル協会を通じた広報

(4) 事業の企画と実施

- ① こども対象
 - ・はごろもキッズデイキャンプ 年間を通じ2回
 - ・キッズクッキング 1～3月 3回×1コース
- ② 家族対象
 - ・アウトドアクッキング 6月・2月
 - ・親子で防災 9月
- ③ 成人対象
 - ・教室事業 (ヨガ・ピラティス・太極拳等) 33教室
 - ・歌レク 8月を除く毎月
 - ・寄席 5月
- ④ 地域と連携した施設開放の事業
 - ・友×遊フェスティバル 11月
- ⑤ 宿泊者を対象とした事業
 - ・大晦日の宿泊イベント 12月
- ⑥ 食堂を利用したイベント
 - ・ワインとワインにあう食事を楽しもう 9月
 - ・日本酒と日本酒にあう食事を楽しもう 2月

(5) 利用獲得目標

	2024年度目標	2023年度見込	2018年度実績
羽衣青少年センター 稼働率	95,000人 21%	72,000人 18%	133,814人 25%
大阪国際ユースホテル 稼働率	18,000人 23%	16,000人 20%	24,140人 31%

5. 貝塚事業部 (大阪府立少年自然の家)

現在の指定管理期間は10年となっており、2024年度(9年目)・2025年度(10年目)は、成果の結実を求められる大切な年度です。それら目標を達成するため、学校団体はじめ、青少年団体・スポーツ団体など、自然の家の特性を活かせる利用者層に積極的に働きかける他、引き続きインバウンドの誘致を進めるとともに、アクティビティの開発および利用者支援を強化し、使いやすい施設として力強くアピールします。

新たな課題への取り組みとしては、4年間プログラミングキャンプを実施して培った経験を活かし、Z世代からα世代を対象とした「クリエイターキャンプ」の開催をはじめ、小学校低学年を対象とした「もりのこクラブ」の二期目への取り組みなど時代のニーズを常にとり入れた事業を行います。

(1) 施設の管理運営と魅力の向上

- ① 森林・登山道・テントサイトなど屋外施設の整備と充実
- ② 更新を迎えた屋内施設・設備の整備（老朽化部分は大阪府と協議の上行う）
- ③ 昨年度に続きHACCPに添った食堂の衛生管理
- ④ 食物アレルギーや摂食障がいなど多様化する食への対応
- ⑤ アンケートや聞き取り調査を通じた利用者満足度向上への取り組み
- ⑥ 実施事業や利用者支援を行うボランティアリーダーに対する定期的な研修など、スキルアップのためのサポート体制を

(2) 地域・行政・機関との連携

- ① 出前講座の実施により、施設外においても体験活動を推進する
- ② 学校・行政・地域(公民館・子ども会等)への講師派遣
- ③ 大学生のインターンシップの受入
- ④ 障がい者の就労実習の場を提供
- ⑤ 「貝塚自然遊学館」「善兵衛ランド」など近隣諸施設との連携

(3) 利用促進・広報活動

- ① YouTube 等動画共有サービスを使用した施設の紹介により、施設の広報および利用者の下見負担の軽減をはかる
- ② 学校およびインバウンドの受入強化のために、学校・旅行代理店の教育旅行部門・インバウンド受入を取り扱う旅行エージェントに営業活動を行う
- ③ ホームページの随時更新、SNSによる情報発信とフォロワー増に取組む

(4) 事業の企画と実施

- ① 子ども対象
 - ・フォレストジュニアクラブ 年間を通じ4回
 - ・こどもシャワークライミング 7月に2回
 - ・こどもワイルドキャンプ 8月
 - ・中高生チャレンジキャンプ 8月
 - ・クリエイターキャンプ(旧プログラミング) 12月
- ② 家族対象
 - ・親子deしぜんのようちえん 年間を通じ4回
 - ・家族でツリーイング* 9月
 - ・ファミリーキャンプ 10月
 - ・小学校低学年を対象としたキャンプ 年間を通じ4回

- ・家族でたき火を楽しもう 1・2月に計4回
- ・防災キャンプ 3月
- ③ 指導者養成
 - ・野外活動指導者講習会 1月
- ④ 知的障がいのある子どもの支援
 - ・障がい者向け事業 10月
- ⑤ 対象や年齢を限定せず府民が気軽に参加できるイベント
 - ・ホテル観賞の夕べ * 6月に4回
 - ・ダッジオープンで野外料理にチャレンジ * 12月に2回
 - ・宿泊パック 年間10回程度
- ⑥ 野外活動と他分野の融合
 - ・絵本に登場する料理を作ろう * 5月に2回
 - ・えほんのひろば 2月
- ⑦ 大人向けの自然体験活動
 - ・女性のためのソロキャンプ 10月
 - ・おとなのえんそく 8月・12月
 - ・シルバー生涯学習 DAY 申込みに応じ随時
- ⑧ 地域・行政・企業他との連携事業
 - ・大阪府アドプトフォレスト 11月
 - ・自然の家オープンデー 2月
 - ・おおさか元気広場 出前講座 申込みに応じ随時
 - ・インターンシップ(就労体験)推進事業 申込みに応じ随時
 - ・自然の家専属指導者育成事業 年3回

* 印：バーベキューガーデンイベントとして実施

(5) 利用獲得目標

	2024年度目標	2023年度見込	2018年度実績
日帰りおよび宿泊利用	92,000人	89,812人	94,290人

< 共同事業体 一般財団法人大阪府青少年活動財団 >

6. 長居事業部（大阪市立長居ユースホステル）

大阪市内かつ広大な長居公園内という立地、また日本最大級のスタジアム内にあるユースホステルという特徴を活かし、最大限のポテンシャルの発揮する1年にします。営業については過去3年間の種蒔きが実を結ぶ頃です。団体宿泊をメインターゲットにしながら、旅の拠点として個人利用者の獲得も積極的に実施し、開所当時のコンセプトでもあるユニバーサルツーリズムの実現を目指します。

事業においても、既に看板企画となっている「サッカーキャンプ in ヤンマースタジアム長居」や絵本世界の疑似体験を行う「飛び込め絵本の世界」を柱とし、若者に対してさらにユースホステルの認知度を上げていくために、学校からの職業体験学習の受け入れ本数も増やします。また近隣の子ども達を対象とした自主事業を毎月実施予定です。

（1）施設の管理運営と魅力の向上

- ① 個室3室にベッドを増設し、需要の多い3名～4名の家族に対応
- ② バリアフリーに関して具体的な部屋寸法をホームページやパンフレットに明示。
- ③ レンタル器具および点字タイルの整備
- ④ スタジアムとユースホステルの保守点検業者が異なるため、金額やスケールメリットを考慮し、業者選定を再考する
- ⑤ スタッフのマルチタスク化の推進

（2）地域・行政・機関との連携

- ① 東住吉区役所と連携し、駒川商店街を活かした観光ツールの作成
- ② 近隣小・中学校の街たんけんや職業体験事業受入本数の強化
- ③ NPO法人大阪府高齢者大学校と連携し、長居を会場とした講座の開講本数を増やし、シニア層への学びの機会の提供
- ④ コミュニティ施設として、相互にチラシを配架し、双方で旬な情報発信に努める
- ⑤ 1Fロビースペースの活用（朝市やフリマなどの催し）

（3）利用促進・広報活動

- ① 府下の主要ユースホステルと連携したマイクロツーリズムの実現に向けたパッケージプランの構築
- ② 長居植物園・自然史博物館・長居トレーニングセンター等の園内施設と協働し、利用者の相互集客およびワークショップ等滞在型アクティビティの充実を図る
- ③ スタジアム利用者の情報をキャッチした営業オペレーションの構築

- ④ コンサートやイベントをリサーチしOTA上で個人宿泊需要を獲得
- ⑤ インバウンド団体に宿泊とあわせて各種文化体験や施設見学の予約、公園内でのイベント等を含めたトータルプログラムを販売
- ⑥ 集会室と自炊室設備がある利点を活かし、技能実習生の法定研修場所として関連企業に提案
- ⑦ 企業研修を取り扱うエージェントとの連携
- ⑧ 府下各種支援学校の利用営業の強化

(4) 事業の企画と実施

① 子ども対象

- ・KIDSDANCEリトルコース (毎週金曜) 通年
- ・KIDSDANCEキッズコース (毎週金曜) 通年
- ・KIDSDANCEティーンコース (毎週金曜) 通年
- ・長居キッズ 毎月第3日曜
- ・サッカーキャンプ2024 6月・10月
- ・ミライリーダーズキャンプ2024 11月
- ・防災キャンプ(青少年対象) 1月
- ・飛び込め!絵本の世界 3月

② 一般対象

- ・健康体操ヨガ(毎週木・金曜2部制) 通年
- ・リラックスヨガ(毎週木曜) 通年
- ・Reフレッシュヨガ(毎週木・金曜) 通年
- ・室内体操教室(毎週木曜) 5・6月
- ・ふれあい卓球(毎週火・金曜) 通年
- ・童謡コーラスin長居 年4回

③ 食堂を利用したイベント

- ・長居植物園とのコラボ弁当 4・8・11・2・3月
- ・珈琲とデザートのマリアージュ講座 2月

(5) 利用獲得目標

	2024年度目標	2023年度見込
宿泊利用人数	10,000人	9,300人
稼働率	32.2%	30.0%
集会室稼働率	33.0%	31.5%

<大阪ユースホステル協会は長居公園共同指定管理者の一員として「大阪市立長居ユースホステル」を担当>

以 上